

三浦市議会だより

第3回定例会

平成二十三年年度決算を認定

県有施設や県補助金等の維持について意見書を可決



10月13日に上宮田小学校で総合防災訓練が行われました
 (写真：消防署員と消防団員による放水訓練)

定例会の経過と概要

月日	曜日	会議名	内容
9月6日	木	本会議	会期の決定、一般質問
7日	金	本会議	一般質問
10日	月	本会議	一般質問、議案の審議(説明・委員会付託)、決算審査特別委員会の設置
11日	火	総務経済常任委員会	議案・陳情の審査
12日	水	都市厚生常任委員会	議案・陳情の審査
14日	金	決算審査特別委員会	議案の審査
18日	火		
19日	水		
20日	木		
21日	金		
24日	月	議会基本条例策定等特別委員会	議会基本条例策定等に関する審査
		財政問題等特別委員会	三浦市の財政問題等に関する審査
27日	木	本会議	議案の審議(総務経済・都市厚生・決算審査の各委員長報告・討論・採決)、意見書案、人事案件(教育委員会委員)、閉会中継続審査申し出、議員派遣について、報告

平成二十四年第三回定例会は、九月六日から二十七日までの二十二日間を会期として開かれました。今定例会では、平成二十三年年度各会計決算を初めとする十八議案を審議しました。また、最終日には四件の意見書を可決し、それぞれ関係機関に送付しました。

〈議会だより第109号の内容〉

定例会の経過と概要	1面
決算審査特別委員会	1～2面
常任委員会の審査	2面
陳情	3面
一般質問	3～6面
議会基本条例策定等特別委員会	6面
可決した意見書	7面
委員会・会派の構成	7面
本会議における討論	8面
議案等の審議結果	8面
人事	8面
議員の辞職	8面
次回定例会の予定	8面

決算審査特別委員会

議案の審査概要

平成二十三年年度の一般会計、特別会計(国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、市場、公共下水道、第三セクター等改革推進債償還)及び企業会計(病院、水道)の決算議案は、六人の委員で構成する決算審査特別委員会に付託され、五日間にわたり審査されました。

決算審査特別委員会

- 委員長 石原正宣
 副委員長 石橋むつみ
 委員 寺田一樹
 藤田昇
 出口眞琴
 草間道治

総括質疑

市政全般にわたり市長に質疑

市の財政運営

質問 財政健全化に向けた長期的な取り組みが求められる中で、二十三年度決算に対する市長の感想は。

答弁 全体としては黒字を確保したが、歳入においては市税収入の減少、歳出においては社会保障費の増加や第三セクター等改革推進債の償還に係る繰出金等があり、厳しい状況が続いていると認識している。

財源の確保

質問 市税収入が減少

する中、財源対策検討委員会の検討などをもとに取り組んだ歳入増加策の効果は。
答弁 緊急緊縮財政宣言の公表以降、さまざまな財源対策を講じている。二十三年度では土地の売却に取り組み、一定の効果はあったが、まだ財源は不足しており、さらなる取り組みを進めたい。

水道事業の経営状況
質問 水道事業の経営状況と市民生活への影響について、市長の見解を伺いたい。
答弁 経営状況の厳しさは感じているが、料金に転嫁せず、現行の料金体系を維持したいと考えている。今任期中は水道料金を上げない考えである。(その他の質疑項目) ・市立病院の経営改革について ・二町谷への企業誘致について ・トーク&トーク開催による市民意見の聴取について、ほか

一般会計

歳入

- ・市税の滞納者数と滞納額について
- ・旧三崎高校の校舎及びグラウンドの貸し付け収入について
- ・公有地の売り払い収入の内訳について
- ・差し押さえ不動産等の公売による成果について

歳出

- **総務費**
 - ・市広報紙及びホームページへの広告掲載について
 - ・税外徴収担当設置による未収金回収の成果について
 - ・南下浦土曜サービスセンター開設の効果と事業の継続について
- **民生費**
 - ・障害者地域作業所への運営費補助について
 - ・福祉タクシーの利用状況について
 - ・生活保護受給者の自立支援について
- **衛生費**
 - ・可燃ごみ等の自区外処分状況と今後の見通しについて
 - ・無料クーポンの利用によるがん検診の受診者数について
 - ・スカベンジ活動の実施傾向について
 - **農林水産業費**
 - ・三浦野菜の放射能濃度検査について



- ・種苗放流事業に係る事業費の減少と漁獲量について

・農作物への被害防止を目的としたカラス対策について

意見 二町谷埋立地内の汚水処理場については、使用していないにもかかわらず、点検のための負担が生じていることに疑問を感じる。

- **商工費**
 - ・二町谷埋立地への企業誘致活動について

- ・三崎下町や城ヶ島の活性化に向けた取り組みについて
- ・教育旅行の誘致活動について

土木費

- ・市営住宅の維持管理費用と家賃収入のバランスについて
- ・公園遊具の整備について

道路

- ・道路の維持補修工事を行う職員体制について
- **消防費**
 - ・消防団員数の削減と消防力の維持について
 - ・東日本大震災被災地への職員派遣について
 - ・非常食用食料の備蓄について

教育費

- ・給食費未納への対処について
- ・就学援助事業の拡充による子育て支援について

・市内小中学校におけるいじめの発生状況と対応について

- **災害復旧費**
 - ・東日本大震災による市有施設の被害状況について
 - ・台風十五号による被害状況と緊急工作隊による復旧作業について

特別会計

国民健康保険事業

- ・国保税の不納欠損額と収納強化策について
- ・特定健診の受診率について
- ・医療費の抑制に向けた取り組みについて

意見 課税限度額の改正等により国保税の値上げが行われていることから、本決算には賛成できない。

後期高齢者医療事業

- ・短期証の交付数及び発行要件について

意見 後期高齢者医療制度自体に反対しているため、本決算には賛成できない。

介護保険事業

- ・介護認定申請者の増加理由について
- ・介護予防の取り組みについて
- ・介護サービス等給付事業費の状況について

市場事業

- ・貸し事務室の利用状況について
- ・災害復旧費の減少理由について

・三崎魚市場における取り扱い数量の見直しについて

公共下水道事業

- ・二十三年度の水洗化率について
- ・公共下水道に接続していない世帯への対応について

意見 公共下水道事業は、多額の税金を投入している事業なので、今後下水道への接続の働きかけを粘り強く行ってほしい。

第三セクター等改革推進債償還事業

- ・二町谷埋立地の暫定使用等による土地貸し付け収入について
- ・第三セクター等改革推進債の元金及び利子の償還額について

意見 本市の財政は厳しい状況が続いているので、二町谷埋立地が一日も早く売却できるように取り組んでほしい。

意見 本会計の存在自体に反対しており、本決算には賛成できない。

企業会計

病院事業

- ・地域医療の取り組みについて
- ・無料送迎バスの利用状況と運行の継続について

・糖尿病フットケア外来の実施について

水道事業

- ・老朽管更新の進捗状況について
- ・災害用飲料水の確保と貯水施設の耐震性について
- ・水道事業の経営状況と今後の水道料金について

質疑終了後、各会計決算について、討論が行われ

常任委員会

議案の審査概要

総務経済

◎専決処分の承認を求めることについて

本案は、ポリオ予防接種事業に係る予算につき

急務を要したため、平成二十四年度三浦市一般会計補正予算(第二号)について、専決処分したものです。

(質疑の主な項目)

・予防接種の方法や接種を行う医療機関について

・予防接種対象者への通知について

◎三浦市火災予防条例の一部を改正する条例

本案は、省令の一部改正に伴い、電気自動車等の急速充電設備を設置す

一般会計

○石橋むつみ副委員長より、三セク債を活用し土地開発公社を解散したことで長期の返済が続くが、二町谷埋立地の売却が進んでいないこと等が反対の理由として述べられました。

国民健康保険事業

○石橋むつみ副委員長より、課税限度額が地方税法を引用する影響で、二十三年度は市民負担が九百万円増加したことなどが反対の理由として述べられました。

後期高齢者医療事業

○石橋むつみ副委員長より、草間道治委員より、市税収入が減少し、厳しい財政状況の中、徴収業務の強化や職員給与見直し

る位置などに関する基準を定めるものです。

(質疑の主な項目)

・市内での電気自動車急速充電設備の設置状況について

・電気自動車の登録台数について

◎三浦市防災会講条例の一部を改正する条例

本案は、災害対策基本法の一部改正に伴い、防災会講委員などに関する規定を改めるほか、所要の改正を行うものです。

(質疑の主な項目)

・新たに任命をする防災会講委員について

◎平成二十四年度三浦市一般会計補正予算(第三号)

本補正は、歳入歳出それぞれ千四百六十万七千円を追加し、歳入歳出予算の総額を四十一億二千二

等の財源対策を行い、成果があらわれていることなどが賛成の理由として述べられました。

国民健康保険事業

○石橋むつみ副委員長より、課税限度額が地方税法を引用する影響で、二十三年度は市民負担が九百万円増加したことなどが反対の理由として述べられました。

第三セクター等改革推進債償還事業

○石橋むつみ副委員長より、二町谷埋立地の先行取得の失敗を原因とする土地開発公社の解散によるものであることが反対の理由として述べられました。

(質疑の主な項目)

・三浦市における介護度別の人数について

・特別養護老人ホームの入居待機者の状況について

◎平成二十四年度三浦市水道事業会計補正予算(第一号)

本補正は、収益的支出の予定額について、営業費用千四百二十九万六千円を追加し、総額を十四億九千五百九十一万六千円とするものです。

(質疑の主な項目)

・三戸配水池の廃止に伴う用地の売却について

・用地売却に向けた既存施設の除却について



常任委員会での陳情の審査結果

9月定例会では7件の陳情を審査し、結果は次のとおりとなりました。そのほかの2件は、引き続き審査を行っていきます。

所管委員会	件名	結果
総務経済	神奈川県最低賃金改定等についての陳情	審議未了
都市厚生	平成25年度における重度障害者医療費助成制度継続についての陳情書	了承できるもの
	平成25年度における障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援についての陳情書	
	建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める陳情	
	県費補助が国庫補助基準を下回らないように財政措置をするよう県に対し意見書を提出することに対する陳情	

新たに提出された陳情

◎平成二十五年度における重度障害者医療費助成制度継続についての陳情書

趣旨 本陳情は、障害児者・透析者が負担なく医療を受けられるよう、平成二十五年も引き続き重度障害者医療費助成を行うことを求めています。

◎建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める陳情

趣旨 本陳情は、アスベスト被害者と遺族を救済し、被害を根絶する対策をとるよう国に意見書を提出することを求めています。

◎平成二十五年度における障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援についての陳情書

趣旨 本陳情は、本市の平成二十五年度予算において、移動困難者に対する通院支援措置を盛り込むことを求めています。

◎県費補助が国庫補助基準を下回らないように財政措置をするよう県に対し意見書を提出することに対する陳情

趣旨 本陳情は、放課後児童クラブに係る県補助金が国庫補助基準を下回らないよう県に意見書を提出することを求めています。

◎平成二十五年度における障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援についての陳情書

趣旨 本陳情は、本市の平成二十五年度予算において、移動困難者に対する通院支援措置を盛り込むことを求めています。

◎建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める陳情

趣旨 本陳情は、アスベスト被害者と遺族を救済し、被害を根絶する対策をとるよう国に意見書を提出することを求めています。

一般質問 ~質問と答弁の要旨~

一般質問とは、市政全般にわたって報告や説明を求めたり、疑問をたずねることをいいます。
今定例会では、12人の議員が市政運営について市側の考えをたずねました。

美しい海岸の保全を

路上喫煙の防止、潮風アリーナ
みうら市政会 出口 眞琴

スのイメージであることは否めない。

海岸へのごみの投棄は、利用者のモラル

【質問】三浦市は、三方を海に囲まれ、毎年多くの観光客がきれいな海や砂浜を求めて訪れる。

しかし、今年度、海水浴場の開設を休止した胴網海岸では、ごみの投棄が目立つ状況にある。

ルによるところが大きく、ごみのモラル遵守について啓発をしていきたい。また、胴網海岸については、次年度以降の海水浴場開設の動向等も注視しながら対応を考えたい。

禁煙エリアの設定

【質問】岐阜県高山市では、国際観光地にふさわしい環境の整備等を図るため、観光客の多いエリアの路上を禁煙としている。

【市長】ごみの投棄は多くの海岸で見受けられ、観光地としては大変マイナ

禁煙エリアの設定は、神奈川県における第四の

施設修繕

【質問】潮風アリーナは、

スポーツの拠点、また文化活動の場として、平成九年に建築された。オープン



海水浴場を休止した胴網海岸

国際観光地を目指す三浦市としても、イメージアップにつながることを考えている。商店街等に禁煙エリアを設けてはどうか。

から十五年が経過し、修繕が必要な箇所があるのではないかと。今年度はシャワー給湯器等の修繕を行った。今後、修繕が必要箇所として、音響設備などが見込まれているので、利用者の安全性や利便性を考慮しながら効果的な修繕を行いたい。

勤労市民センターの存続を

高校入試、ひとり暮らし高齢者
日本共産党 立本 眞須美

を行うことを目的としたもので、施設の廃止自体を撤回するものではない。

【質問】勤労市民センターの廃止時期が平成二十五年度末に延長されたが、利用団体の最大の要望は、施設の存続である。

勤労市民センターは、三崎地区での公民館機能を果たしている施設であり、さまざまな団体が生涯学習活動を実践している。名称を変更し、公民館として施設を維持・存続させてはどうか。

今後、利用団体の皆様のご理解をいただくよう、継続して協議したい。

受験生の不安解消

【質問】平成二十五年度に、神奈川県立公立高校の入試制度が九年度に変わられる。受験生や保護者に対しては、どのように対応するのか。

【市長】廃止時期の変更は、利用者への説明や代替施設等について十分な協議

【教育長】制度変更後、最初の受験生は、さまざまな戸惑いや不安があると考える。受験生が自分の力を十分に発揮できるよ

うに、また、各学校での進路指導が円滑に進むように、新しい入試制度についての情報提供など、積極的に支援をしていきたい。

ただきたい。高齢者の方だけでなく、関係機関や民生委員等にも事業の内容や利用方法について理解していただけるよう、案内や周知方法の工夫に努めたい。

幅広い周知を

【質問】三浦市は、ひとり暮らしの高齢者が多く、今後ますます増加していくと考える。

ひとり暮らし高齢者の緊急時に対応する支援策として高齢者緊急通報体制整備事業がある。この事業については余り知られていないので、周知に力を入れてい



勤労市民センター

新たな観光の核づくり

特別養護老人ホームの増設
フォーラムみうら 寺田 一樹

質問 新たな観光の核づくり認定事業は、神奈川県第四の国際観光地を目指す団体が、その実現に向けた構想を県に提案するものである。

三浦市は、商工会議所等との連名により、城ヶ島にホテルや医療施設などの誘致等を行う構想を提案している。

この提案が採択されれば多くの来遊客の増加が見込まれるが、城ヶ島だけで来遊客をもてなすには限界がある。三崎下町

地区との連携が重要となるが、三崎漁港周辺整備については、どのようなビジョンを持っているのか。

市長 今回の提案は、あくまでも構想を示すもので、まだ構想に記載されたいすべの提案が実現可能なものとは言えない状況である。

国際観光拠点としての機能は、三崎地区を含めた一体的なものとなることが重要であると考えており、民間資本の視点から城ヶ島だけでなく、三崎地区にも向いてくることを大いに期待している。

市の財政負担は

質問 第五期介護保険事業計画では、平成二十六年に特別養護老人ホーム(特養)の増設を予定している。

第五期計画における介護給付費の推計では、増設を行う二十六年度には、特養に関する介護給付費が大きく増加している。

介護保険料への影響や市の負担増が考えられるが、財源の確保はできるのか。



三崎下町と城ヶ島の連携を

ビス利用者が特養に移行することで、居宅の介護給付費が減少すると見込んでいる。

このため、特養の整備にかかわり、市の財政負担が大幅に増加することはないと推計している。

災害時の職員行動計画

花火大会、土砂の埋立て
無所属 出口 正雄

質問 東日本大震災では、三浦市でも多くの市民が避難所に避難し、市職員が対応に当たった。しかし、地震の発生が夜間や休日だった場合には、対応が後手に回った可能性もある。

今までの地域防災計画は、市の取り組みや国・県の機関の役割等が記載されたものとなっている。

現在取り組んでいる地域防災計画の改定においては、職員の行動計画をわかりやすく記載するべきことに敬意を感じている。

主催者は来年も実施したいと考えているが、市からの支援について、市長の考えをお聞きしたい。

市長 地域防災計画は、各防災機関の業務や防災対策などを広範に定めるものであり、詳細な職員行動等を記載することは考えていない。

災害時の職員行動については、現在作成中の職員行動マニュアルの中で明確化していきたい。

市の実情に適した指導を行うため、条例にどのような内容を加えるべきと考えているのか。

市長 本市の切迫した財政状況から財政支援等は難しいが、人的協力などについては十分要望に応えられると思っている。

質問 三浦市では、違法な土砂埋立行為に対して適正な指導を行うため、農地造成指導要領の条例化を検討している。



総合防災訓練(炊き出し訓練)

地域防災計画の改定

通学路の安全対策、うつ病対策
公明党 藤田 昇

質問 三浦市は、地域防災計画のうち、「地震災害対策計画編」及び「資料編」の改定に取り組んでいる。

①現在の進捗状況について伺いたい。
②改定に当たり、計画に女性の視点の導入はされたのか。

市長 ①県計画との整合を図る作業がおおむね終了したところであり、今後、防災関係機関への照会や防災会議での審議等を経て、今年度中に完成

させる予定である。
②計画には、避難所の開設・運営に関することや、生活必需品等の備蓄について、女性のニーズへの配慮に関する項目が盛り込まれている。

通学路の安全確保
①本年七月に通学路緊急合同総点検を実施したが、点検の結果、どのような対策をとるのか。

②文科省は、通学路の安全確保のため、市町村に専門家を派遣する通学路安全対策アドバイザー制度を創設する。来年度はモデル事業的に実施さ

心の体温計
質問 うつ病の早期発



警察官等による通学路安全点検

安全・安心な三浦野菜

地域医療、三浦縦貫道路
みうら市政会 草間 道治

質問 福島第一原発の事故による放射能の影響から、食品の安全性が心配されている。

三浦から出荷される野菜について、放射能濃度検査を行っているが、どのように取り組んでいるのか。

経済振興部長 昨年十二月から、農協が行う放射能濃度検査に対して補助を行っている。これまでの検査結果は定量限界値未満が続いており、三浦野菜の安全性が示されて

いる。
今年度は、十品目、計二十七回の検査を補助対象としており、今

後、十月から大根の検査を、十一月からキャベツの検査を予定している。

地域医療の推進
質問 市立病院では三浦ならではの地域医療を提唱し、地域医療科をスタートさせるなど、介護・福祉との連携を進めている。現在の状況について伺いたい。

総病院長 高齢化社会における地域医療の役割はますます重要となると認識している。



三浦市立病院

今年度は、在宅支援診療所との連携による二十四時間在宅医療体制など、地域の高齢者医療連携に関する調査研究事業を進める予定である。

成二十二年度から工事着手しており、三浦市域においては、市道との交差部のボックスカルバート工事が完成している。今後も切り土工事等を進め、二十七年の供用開始を目指すと考えている。

環境に配慮した整備を

環境教育、県道の放置車両
日本共産党 石橋 むつみ

質問 県立三崎高校跡地に新消防庁舎を建設することとなり、体育館の解体工事が進んでいる。

質問 具体的な設計に当たっては、整備費用との兼ね合いはあるが、自然エネルギーの活用や省資源に配慮した構造等を検討したい。

市の中心核に整備される施設であり、シンボルとなるような施設整備が求められる。消防本来の役割に加え、環境保全、自然エネルギー利用も視点に置いた取り組みが必要だと思いが、研究・検討はしたのか。

市長 新消防庁舎への自然エネルギー導入については、環境省のグリーン

ニューディール基金制度の導入を試みたが、採択に至らなかった経緯がある。

質問 三浦の環境を学ぶ子供たちが三浦の町について、どのような環境で、どのようなことが大切かを学ぶことが必要だと思いが、本市の環境教育について伺いたい。

市長 放置車両は、景観を損なうばかりではなく、二次



体育館を取り壊した三崎高校跡地

時間などを使い、環境保全や省エネルギーの学習に取り組んでいる。環境教育は生活に直接かかわる領域であり、体験的な活動を取り入れたり、他の学習と関連づける等の工夫をして充実を図っていききたい。

的犯罪を誘発するなど、市民生活への悪影響が懸念されるものである。施設管理者の県には早期の撤去を働きかけており、また、市民への啓発について今後検討していく考えである。

新中学校の校歌・校章

高齢者虐待防止、みうら夜市
みうら市政会 神田 眞弓

質問 三崎中学校と上原中学校の統合による新三崎中学校については、新しく校歌、校章をつくるに当たって、三崎、上原両中学校の在校生からアイデアの募集をしている。

質問 ネットワーク機関連設置を高齢者施設における高齢者への虐待問題がメディアで取り上げられている。

在校生からは、どの程度の応募があったのか。

質問 高齢者施設における高齢者への虐待問題がメディアで取り上げられている。

現在(九月十日)では、三崎中学校からは百十七名、上原中学校からは百名の方に応募いただいている。

保健福祉部長 研修等で施設職員の資質向上に努

アをもとに作成作業を進め、校歌は平成二十五年七月、校章は平成二十五年四月を目途に完成させる予定である。

機会を利用して虐待防止に関する市民への普及啓発活動を行いたい。

アをもとに作成作業を進め、校歌は平成二十五年七月、校章は平成二十五年四月を目途に完成させる予定である。

機会を利用して虐待防止に関する市民への普及啓発活動を行いたい。

アをもとに作成作業を進め、校歌は平成二十五年七月、校章は平成二十五年四月を目途に完成させる予定である。

機会を利用して虐待防止に関する市民への普及啓発活動を行いたい。

アをもとに作成作業を進め、校歌は平成二十五年七月、校章は平成二十五年四月を目途に完成させる予定である。

機会を利用して虐待防止に関する市民への普及啓発活動を行いたい。

アをもとに作成作業を進め、校歌は平成二十五年七月、校章は平成二十五年四月を目途に完成させる予定である。

機会を利用して虐待防止に関する市民への普及啓発活動を行いたい。

アをもとに作成作業を進め、校歌は平成二十五年七月、校章は平成二十五年四月を目途に完成させる予定である。

機会を利用して虐待防止に関する市民への普及啓発活動を行いたい。

アをもとに作成作業を進め、校歌は平成二十五年七月、校章は平成二十五年四月を目途に完成させる予定である。

機会を利用して虐待防止に関する市民への普及啓発活動を行いたい。

住宅リフォーム助成制度

白秋記念館、神奈川臨調
日本共産党 小林 直樹

質問 住宅リフォーム助成は、少ない予算で地域

質問 市の財政的

成は、少ない予算で地域経済を活性化させることができ、市民の住環境もよくなるなど多くの効果があるため、要望の強い制度である。

質問 市の政策会議で、白秋記念館を廃止するという結論が出された。あわせて、北原白秋の功績を伝える事業を継続する必要性も示されている。

平成二十五年度も引き続き実施することについて、市長の考え方を伺いた

市長 今も市内の業界や市民から実施の要望を受けているが、十一月に予定する第三期分の申請状況等も考慮したい。

市民から実施の要望を受けているが、十一月に予定する第三期分の申請状況等も考慮したい。

市長 耐震補強をして、そのまま利用する建物と

市民から実施の要望を受けているが、十一月に予定する第三期分の申請状況等も考慮したい。

市長 耐震補強をして、そのまま利用する建物と

市民から実施の要望を受けているが、十一月に予定する第三期分の申請状況等も考慮したい。

市長 耐震補強をして、そのまま利用する建物と

市は財政的に厳しい状況だが、効果的な施策としての実績があるので、前向きに検討していきたい。

市は財政的に厳しい状況だが、効果的な施策としての実績があるので、前向きに検討していきたい。

市は財政的に厳しい状況だが、効果的な施策としての実績があるので、前向きに検討していきたい。

市は財政的に厳しい状況だが、効果的な施策としての実績があるので、前向きに検討していきたい。

市は財政的に厳しい状況だが、効果的な施策としての実績があるので、前向きに検討していきたい。

市は財政的に厳しい状況だが、効果的な施策としての実績があるので、前向きに検討していきたい。

市は財政的に厳しい状況だが、効果的な施策としての実績があるので、前向きに検討していきたい。

市は財政的に厳しい状況だが、効果的な施策としての実績があるので、前向きに検討していきたい。

市は財政的に厳しい状況だが、効果的な施策としての実績があるので、前向きに検討していきたい。

市は財政的に厳しい状況だが、効果的な施策としての実績があるので、前向きに検討していきたい。

市は財政的に厳しい状況だが、効果的な施策としての実績があるので、前向きに検討していきたい。

市は財政的に厳しい状況だが、効果的な施策としての実績があるので、前向きに検討していきたい。

市は財政的に厳しい状況だが、効果的な施策としての実績があるので、前向きに検討していきたい。

市は財政的に厳しい状況だが、効果的な施策としての実績があるので、前向きに検討していきたい。

市は財政的に厳しい状況だが、効果的な施策としての実績があるので、前向きに検討していきたい。

市は財政的に厳しい状況だが、効果的な施策としての実績があるので、前向きに検討していきたい。

することが必要だと思

町村や県民、市民への負担の押しつけにならないよう、十分な説明や調整が必要だと思

町村や県民、市民への負担の押しつけにならないよう、十分な説明や調整が必要だと思

町村や県民、市民への負担の押しつけにならないよう、十分な説明や調整が必要だと思

町村や県民、市民への負担の押しつけにならないよう、十分な説明や調整が必要だと思

町村や県民、市民への負担の押しつけにならないよう、十分な説明や調整が必要だと思

町村や県民、市民への負担の押しつけにならないよう、十分な説明や調整が必要だと思

町村や県民、市民への負担の押しつけにならないよう、十分な説明や調整が必要だと思



市内の農産物直売所

住宅リフォーム助成制度

白秋記念館、神奈川臨調
日本共産党 小林 直樹

質問 住宅リフォーム助成は、少ない予算で地域

質問 市の財政的

成は、少ない予算で地域経済を活性化させることができ、市民の住環境もよくなるなど多くの効果があるため、要望の強い制度である。

質問 市の政策会議で、白秋記念館を廃止するという結論が出された。あ

平成二十五年度も引き続き実施することについて、市長の考え方を伺

市長 今も市内の業界や市民から実施の要望を受けているが、十一月に予定する第三期分の申請状況等も考慮したい。

市民から実施の要望を受けているが、十一月に予定する第三期分の申請状況等も考慮したい。

市長 耐震補強をして、そのまま利用する建物と

市民から実施の要望を受けているが、十一月に予定する第三期分の申請状況等も考慮したい。

市長 耐震補強をして、そのまま利用する建物と

市民から実施の要望を受けているが、十一月に予定する第三期分の申請状況等も考慮したい。

市長 耐震補強をして、そのまま利用する建物と



城ヶ島の白秋記念館

風致地区の見直し

避難道路の整備、海水浴場
フォーラムみaura 松原 敬司

質問 現行の県条例による風致制度は、三浦市のまちづくり、産業づくりの障害となっていると指摘せざるを得ない。

今後、新たに市が風致地区条例を制定するに当たっては、地域特性を踏まえた風致地区の見直しを行うしてほしい。

市長 風致地区の見直し作業に当たっては、地域の実情に応じたきめ細かな対応を図ることが必要だと考えている。

市民や事業者へのアン

ケート調査を予定している。この結果も考慮しながら見直し作業を進めたい。

からの避難道路として大変重要であり、再検証をする必要があると思う。河川の上部や大型店舗の敷地を利用することについては、整理すべき課題もあるが、地域の状況等を把握して検討を行いたい。

営業時間の拡大

質問 鎌倉や逗子の海水浴場では、海の家が午後八時ごろまで営業している。

三浦海岸の集客性を上げ、沿道の商業が興

は来年度にも着手されると考えている。静穏度の確保については、二町谷の利用形態等を検討する必要があるが、引き続き早急な対応を要望したい。

二町谷地区の整備

三崎高校跡地、障害者支援
みaura市政会 石原 正宣

質問 ①二町谷地区における越波対策や静穏度の確保は、企業誘致や港機能の活用における基盤整備として極めて重要だが、今後の対策工事等の実施について伺う。

②二町谷の整備には多くの負担が必要であり、市の財政計画や次期総合計画にも影響する。今後どのように検討、協議をしていくのか。

市長 ①二町谷地区の整備については県知事に要望をしており、越波対策

市を中心核としての活用については、昨年度、市民交流拠点整備事業を行う民間事業者を募集したが、すべての事業者が辞退し

た。新たな活用方針・計画案はいつごろ示すのか。

市長 現在、事業者募集のために事業内容や整備手法等の条件を再検討している。新たな活用方針・計画案は、県に校舎の解体期限延長をお願いする際にも必要となるため、年内には固めたい。

質問 障害者福祉 障害者自立支援法の改正により、市町村が基幹相談支援センターを設置し、相談支援事業の充実を図ることになった。

相談支援に当たっては、早期に専

るように、海の家の営業時間拡大などに当たっては、市としての尽力をお願いしたい。

市長 海の家の営業時間は県の許可に委ねられているが、地元の生活環境に十分配慮し、海水浴場の開設者などとも連携をして、柔軟な姿勢で対応していきたい。

た。新たな活用方針・計画案はいつごろ示すのか。

市長 本市の実情に合った実施手法を探り、早期に相談支援事業を充実させて、障害者福祉の基盤整備づくりを推進したい。



三浦海岸沿いの国道134号



高波の被害を受けた二町谷

議会基本条例策定等 特別委員会 審査の概要

九月二十四日に第五回
目の委員会を開催しまし
た。委員会で交わされた
主な議論は、次のとおり
です。

◆◆

○議会に関する情報の公開と市民参加

・議会だよりやホームページは、内容のさらなる充実を図り、積極的な情報発信に努めたい。
・インターネットによる議会中継は、開かれた議会を目指すという視点では必要である。市の厳しい財政状況を考慮し、実施を前提に低コストでできる方法を探りたい。
・議会の情報公開及び市民の意見集約の場として

次
の
委
員
会
開
催
は
、
十
一
月
十
二
日
(
月
)
午
前
十
時
か
ら
の
予
定
で
す
。

◆◆

○基本条例案の市民への提示時期と方法

・委員会で議論している内容を市民に周知することが重要だと思
う。
・今までの議論内容を成文化し、次回の委員会で市民への提示について協議したい。

て議会報告会を定期的に開催する。実施形態は今後の課題となるが、実施する以上は、議員みずからが広報を行うことなど、手法を十分に検討したい。

次回の開催日程やこれまでの審査経過など、特別委員会の詳しい情報は、市議会ホームページからごらんいただけます。



請願書・陳情書の提出方法

☆請願書・陳情書は、どなたでも提出することが出来ます。

☆請願は、一人以上の紹介議員が必要となりますが、陳情は紹介議員の必要はありません。

☆書式等は、整理の都合上、次の例にならってください。

・用紙はA4版を使用し、横書きとしてください。

・趣旨は簡条書きにするなど簡潔明瞭に書いてください。

・内容が幾つかにわたる場合(道路問題と学校問題など)は、内容ごとに別の請願(陳情)としてください。

・請願(陳情)者が複数の場合は、代表者を決めてください。

・署名簿がある場合は添付してください。(コピーは不可。請願書への署名者は押印が必要です)

☆請願(陳情)者は、希望する場合、委員会に出席して趣旨説明をすることが出来ます。

☆請願・陳情は、三、六、九、十二月に開催される市議会定例会で審査されます。提出期限は議会日より、ホームページでご確認ください。

☆請願(陳情)者の氏名などは、会議録等で一般に公開されますので、あらかじめご了承ください。

☆詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

(電話八八二一一一 内線四六二)

(請願書の表紙)

〇〇〇についての請願書

紹介議員 〇〇〇〇 印
〇〇〇〇 印
(署名または記名押印)

(請願書・陳情書の本文)

〇〇〇についての請願(陳情)書

請願(陳情)の趣旨

請願(陳情)の理由

平成 年 月 日
三浦市議会議長 様

住所 〇〇〇〇 印
氏名 〇〇〇〇 印
(法人の場合は名称、代表者氏名)

可決した意見書(概要)

地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

地球温暖化防止のための温室効果ガスの削減は、我が国のみならず地球規模での重要かつ喫緊の課題となっており、森林のもつ環境保護などの機能に対する国民の関心と期待は大きくなっている。

地球温暖化防止をより確実なものとするためには、森林の整備・保全や豊富な自然環境が生み出す再生可能エネルギーの活用などの取り組みを、山村地域の市町村が主体的・総合的に実施することが不可欠であり、そのためには恒久的・安定的な財源が必要である。

よって、国においては、森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、平成24年10月に導入される「地球温暖化対策のための税」の一定割合を、森林面積に応じて地方に譲与する仕組みを早急に構築することを強く求める。

〈提出先〉 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 農林水産大臣 環境大臣

建設業従事者のアスベスト被害に対して早期救済・解決を求める意見書

国内の建設現場では、建設資材などにアスベストが多く使用され、国も建築基準法などでアスベストの使用を推進したことにより、多くの建設業従事者に健康被害が広がった。

建設業界の重層下請構造により、建設業従事者は多くの現場に従事することから、労災認定には困難が伴い、製造業で支給されているような企業独自の上乗せ補償もない。

国は石綿健康被害救済法を成立させたが、その内容は不十分なものであり、抜本的な改正が求められている。

よって、国は建設アスベスト被害者と遺族が生活できる救済措置の実施とアスベスト被害の拡大を根絶する対策を直ちにとり、アスベスト問題の早期解決を図ることを強く要望する。

〈提出先〉 内閣総理大臣 財務大臣 厚生労働大臣 国土交通大臣 環境大臣

放課後児童クラブへの県費補助に対する意見書

近年共働き世帯が増加する中で、放課後児童クラブのニーズは大変高く、本市においても、仕事と子育ての両立支援、児童の健全育成という点で重要な役割を果たしている。

放課後児童クラブに係る県の補助金は、交付要綱により国庫補助基準と同額とされているが、実際に市町村へ支出されている補助金は、県の財政難を理由に基準額を下回る金額となっている。

補助金の不足分を補うには、市町村や保護者の負担増あるいは運営費の削減などが必要となる。このことは、指導員の待遇の悪化や保育内容の低下を招き、放課後児童クラブの事業を後退させる。

よって、神奈川県においては、国庫補助基準額を下回らない補助を実施するよう強く要望する。

〈提出先〉 神奈川県知事

神奈川県緊急財政対策本部調査会(神奈川臨調)が発表した「県有施設の原則全廃」と「補助金・負担金の一時凍結」を実施しないよう求める意見書

神奈川県緊急財政対策本部調査会は、9月21日に「県有施設の原則全廃」と「補助金・負担金の一時凍結」などの内容の最終意見を発表した。

本市にある多くの県有施設は、いずれも市民生活や本市の基幹産業である農業、水産業、観光業に係わる重要な施設である。

また、県の補助金・負担金は、財政状況の厳しい本市にとって欠かすことができないものであり、凍結されれば事業継続に甚大な影響が出ることは明らかである。

よって、神奈川県においては、「県有施設の原則全廃」と「補助金・負担金の一時凍結」を実施しないよう強く要望する。

〈提出先〉 神奈川県知事

議会運営委員会

- ◎ 出口 眞
- ◎ 石橋 眞
- ◎ 寺田 一
- ◎ 藤田 眞
- ◎ 草野 眞
- ◎ 小原 眞
- ◎ 林間 眞
- ◎ 直道 眞
- ◎ 樹治 眞

都市厚生

- ◎ 松原 敬
- ◎ 出口 眞
- ◎ 石橋 眞
- ◎ 寺田 眞
- ◎ 藤田 眞
- ◎ 草野 眞
- ◎ 小原 眞
- ◎ 林間 眞
- ◎ 直道 眞
- ◎ 樹治 眞

財政問題等

- ◎ 草野 眞
- ◎ 松原 敬
- ◎ 出口 眞
- ◎ 石橋 眞
- ◎ 寺田 眞
- ◎ 藤田 眞
- ◎ 草野 眞
- ◎ 小原 眞
- ◎ 林間 眞
- ◎ 直道 眞
- ◎ 樹治 眞

総務経済

- ◎ 草野 眞
- ◎ 石橋 眞
- ◎ 寺田 眞
- ◎ 藤田 眞
- ◎ 草野 眞
- ◎ 小原 眞
- ◎ 林間 眞
- ◎ 直道 眞
- ◎ 樹治 眞

議会基本条例策定等

- ◎ 石橋 眞
- ◎ 寺田 眞
- ◎ 藤田 眞
- ◎ 草野 眞
- ◎ 小原 眞
- ◎ 林間 眞
- ◎ 直道 眞
- ◎ 樹治 眞

常任委員会

特別委員会

会派

委員会・会派の構成

委員会及び会派の構成に変更がありました。現在の構成は次のとおりです。
(◎は委員長 ○は副委員長 ☆は会派代表者)

みうら市政会

- ◎ 中谷 博
- ◎ 神田 眞
- ◎ 岩野 眞
- ◎ 出口 眞
- ◎ 草野 眞
- ◎ 石橋 眞
- ◎ 寺田 眞
- ◎ 藤田 眞
- ◎ 草野 眞
- ◎ 小原 眞
- ◎ 林間 眞
- ◎ 直道 眞
- ◎ 樹治 眞

- 公明党
- ☆ 藤田 昇
- 無所属
- (会派に属さない議員)
- 出口 正雄

- フォーラムみうら
- ☆ 松原 敬
- ☆ 寺田 眞
- 北川 年一

- 日本共産党
- ☆ 小林 直樹
- ☆ 石橋 眞
- 立本 眞須美



本会議場における議員

本会議における討論

議案第34号 平成23年度三浦市一般会計決算の認定について

反対討論

日本共産党 石橋 むつみ

第三セクター等改革推進債百八億円余りの活用により土地開発公社の解散が行われ、今後三十年に及ぶ長期の返済が始まっている。しかし、二町谷埋立地は全く売れず、また、返済のため市民生活へのしわ寄せが、さまざまところで明らかになってきている。

東日本大震災以後、安心・安全に子供を産み育てられる環境の大切さが問われている。子育て支援策の充実が必要であり、小児医療費助成制度及び就学援助制度の改善を求める。

財政的に厳しい中でも、市職員が一体となって市民の暮らしと営業を守ること、公正で民主的な市民本位の行財政運営を進めることを求める。

賛成討論

みうら市政会 出口 眞琴

厳しい財政状況の中、人件費の削減などで歳出抑制を図りながら、市民サービスの低下を極力避ける形で実施計画事業を遂行しており、行政努力を高く評価する。

二十三年度においては、小児医療費助成事業では対象年齢の引き上げを、基幹産業である農業では放射能濃度検査の支援、漁業では三崎漁港の活性化と基盤整備を行い、また観光では下町・城ヶ島地区の活性化などを進め、来遊客増加に向けた取り組みを行っている。

今後の三浦市財政に大きく影響する課題も多く残されるが、これらの解消に向けて、職員が一丸となり市政に邁進することを期待する。

賛成討論

公明党 藤田 昇

平成二十三年度は、第三セクター等改革推進債の償還が本格的に始まり、厳しい財政運営となっている。そのような中で、市税収入の収納体制強化などの歳入増加策や、積極的な職員給与の見直しなどの歳出削減策、また国の交付金の活用による事業実施に取り組んでいる。

特に、シテイ・セールスとして教育旅行誘致事業に取り組み、着実に営業活動の成果があらわれていることは評価したい。

二町谷埋立地の売却や三崎高校跡地の利活用など、本市を取り巻く環境は非常に厳しいが、今後の財政運営に向けて、市長を先頭に、職員一人一人のなお一層の努力と、効率的な事業の執行を期待する。

本会議での議案等の審議結果

番号	件名	議決状況
議案第31号	専決処分の承認を求めることについて	原案承認 全会一致
議案第32号	三浦市火災予防条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第33号	三浦市防災会議条例の一部を改正する条例	〃
議案第34号	平成23年度三浦市一般会計決算の認定について	原案認定 賛成多数
議案第35号	平成23年度三浦市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	〃
議案第36号	平成23年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	〃
議案第37号	平成23年度三浦市介護保険事業特別会計決算の認定について	〃 全会一致
議案第38号	平成23年度三浦市市場事業特別会計決算の認定について	〃
議案第39号	平成23年度三浦市公共下水道事業特別会計決算の認定について	〃
議案第40号	平成23年度三浦市第三セクター等改革推進債償還事業特別会計決算の認定について	〃 賛成多数
議案第41号	平成23年度三浦市病院事業会計決算の認定について	〃 全会一致
議案第42号	平成23年度三浦市水道事業会計決算の認定について	〃
議案第43号	平成24年度三浦市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第44号	平成24年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第45号	平成24年度三浦市水道事業会計補正予算(第1号)	〃
議案第46号	財産の取得について	〃
議案第47号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	原案同意
議案第48号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	〃
意見書案第5号	地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書	原案可決
意見書案第6号	建設業従事者のアスベスト被害に対して早期救済・解決を求める意見書	〃
意見書案第7号	放課後児童クラブへの県費補助に対する意見書	〃
意見書案第8号	神奈川県緊急財政対策本部調査会(神奈川臨調)が発表した「県有施設の原則全廃」と「補助金・負担金の一時凍結」を実施しないよう求める意見書	〃
報告第12号	専決処分の報告について	報告
報告第13号	専決処分の報告について	〃
報告第14号	専決処分の報告について	〃
報告第15号	専決処分の報告について	〃
報告第16号	専決処分の報告について	〃
報告第17号	平成23年度三浦市定額資金運用基金運用状況報告書	〃
報告第18号	平成23年度三浦市一般会計継続費精算報告書	〃
報告第19号	平成23年度決算に基づく健全化判断比率について	〃
報告第20号	平成23年度決算に基づく資金不足比率について	〃
報告第21号	専決処分の報告について	〃

人事

定例会後に任期満了を迎える委員の後任を任命するための議案が提出され、原案のとおり同意することに決しました。

教育委員会委員

菊池 惠氏
曾根 崇子氏

議員の辞職

八月二十日、佐瀬喜代志議員より辞職願が提出され、同日付をもって議長が受理し、辞職を許可しました。このことにより、三浦市議会議員の現員数は十四人となりました。

議会を傍聴しませんか

平成24年第4回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月日	曜日	会議名等
11月26日	月	招集告示
28日	水	議会運営委員会(日程・審査方法等決定)
12月3日	月	本会議(一般質問)
4日	火	本会議(一般質問)
5日	水	本会議(一般質問)
6日	木	総務経済常任委員会
7日	金	都市厚生常任委員会
11日	火	議会基本条例策定等特別委員会 財政問題等特別委員会
13日	木	本会議(委員長報告・採決)

◆お問い合わせは議会事務局へ
電話 046-882-1111 内線462・463
※請願・陳情の提出期限は11月27日(火)です。

編集委員会からお知らせ

議会だより編集委員会では、これまで議案に対する各議員の表決態度(賛否)を公開することに検討を重ねてきました。その結果、次号の議会だより(平成二十五年二月一日発行・十二月定例会分)から掲載を始めることになりました。

